



# Dr. ババサヘブ・アンベッカー ・マラスワダ大学経済学部

Department of Economics, Dr. Babasaheb  
Ambedkar Marathwada University, India



インド

●学部学生 1万人 ●大学院生 約 100人 ●教職員 約 450人

ホームページ <http://www.bamu.ac.in/>

交流協定締結年月日：2018年7月26日 主管学部：経済学部



## 交流実績（平成30年度）

年度	H30
受入・派遣	
学生の受入	3
学生の派遣	0
研究者・職員の受入	0
研究者・職員の派遣	1



## 国際交流の特色

香川大学経済学部はこのたび、インドDeccan高原にあるAurangabad市のDr. B.A.Marathwada大学経済学部との間で国際交流協定を結ぶことになりました。Dr. B.A.Marathwada大学はかなり大きな規模の大学です。

Marathwada地方(人口約2千万)における教育の中心となっています。この地方には仏教で大事なAjantaとEllora Caves(ともに世界遺産)も有りますので、日本人観光客も多いです。また南インドのTaj Mahalと言われている お墓もあります。

大学には40以上の学部があり、学生数は約45万人にも達します。経済学部は地域発展と地域貢献にかなり力を入れています。香川大学経済学部との間で学生のShort Visit、共同研究会、研究者交流を望んでいます。現在学部長であるマハジャン博士のLeadershipにより今年大きな学会を開かれ、ラナデ教員はKeynote Speakerとして参加しました。現在その学会発表を中心に本を出版する作業を行っています。2018年8月中旬にはDr. B.A.Marathwada大学の大学院生(約100人)のためにラナデ教員が4回講演しました。また何人かの教員と一緒に共同研究の打ち合わせも実施しました。2018年10月には一人の教員が香川大学経済学部Short Visitで来日しました。

## 教員からの声

今年8月後半に、Dr.BAMU経済学部にて講演、教員研究者と意見交換と経済理論の研究打ち合わせをしました。2週間の間、学生と様々な話しをしながら、打ち解け合い交流を深めました。大学には様々な学生がおり、補助金をもらって日本へ留学する学生もいます。

来年8月末には、経済学部の学生を観光と経済学の勉強のため、Dr.BAMUへ連れて行く予定です。

香川大学経済学部教員、ラナデR.R.